

## 平成 29 年度第 1 回目学習支援講師のための研修会が行われました

—児童養護施設学習支援市民協働モデル事業—

今年度第 1 回目の学習支援講師対象の研修会が 8 月 7 日横須賀市役所で行われました。

第 1 部は「横須賀市児童相談所について」という題目で児童相談所高場利勝所長の講演がありました。横須賀市の児童相談所設立までの過程、役割、現在の状況など大変わかりやすい説明がありました。参加者からも「改めて知らないことが多くあることが分かった」「とても勉強になった」「職員の方々のご苦勞を再認識した」などの声が聞かれました。

第 2 部では当 NPO 理事の石渡美智子、渡邊なるみが講師となり、「愛着障害を持つ子どもとその対応」を学習しました。赤ちゃんが一番身近にいる大人（多くの場合は母親）の愛情深い接触や呼びかけなどを通して、人を信頼し精神的に自立できるようになっていく様子を段階的に見ていきました。また、愛情を十分与えられず、虐待されて育った場合に発症する「愛着障害」がどのようなものか具体的に学びました。学習支援している施設の多くの子供たちがこの「愛着障害」を持っていると思われます。最後に、実際に施設で学習支援している二人の講師がそれぞれ担当している小学生、中学生の例を挙げて話をしました。「愛着障害」を持つ子供といかに接して少しずつ、少しずつ心を開いて行ったかが具体的に話され、多くの参加者の共感を得ました。

